

大地申  
 第11号

## 「営業関係施策について」に関する申し入れ交渉開催! その1

今施策は「提案＝実施」という事態となったことから緊急申し入れを行い、労使議論を通じ整理を行いました。その後「営業関係施策」に関する解明申し入れの団体交渉で偽装請負を指摘し、認識一致を図ってきました。

安全・安定輸送を基礎にお客さまにとって利用しやすく、働く我々にとってもやりがいを感じられる駅を創りだすために12月24日、大地申11号「営業関係施策について」に関する申し入れ交渉を行いました。

### 1. 今施策でコンプライアンス違反を発生させないよう施策実施の目的を現場社員に丁寧に説明し、不安を解消すること。

回答：関係社員に対し、今施策の内容等に関する必要な説明を行っていく考えである。

組合：実習の進捗はどうか？

会社：スケジュールについてお伝えし、再開した。より良い研修へ当初の考えと変更した部分もある。システム研修という形で力を入れて現在も集合教育を行っている。

組合：今施策の目的は？

会社：会社を取り巻く状況、要員事情は厳しいため対応できる体制を見直していく。

組合：メリットは？

会社：輸送の拠点駅としてサービスに集中できるようになる。

組合：社員周知の考えは？

会社：一度勉強会を行っているが、再度周知してきたところである。今後もその都度周知を行う。

組合：今施策において緊急交渉を行う事態に発展するほど現場は混乱した。また駅長との軋轢も生じたのは事実。支社として現場に丁寧に説明できなかった結果。二度と無いようにすべきである。

会社：前広にと言いながら現場に不安を与えたことは反省しなければならない。

不要な不安を与えないよう  
丁寧に説明すること!



### 2. 体制変更後もホームで行う運転・運行業務や異常時対応等で必要な設備・スペース等を確保すること。

回答：業務を行ううえで必要な設備等は整備していく考えである。

組合：南浦和の北行詰所はどうか？担架やグッズを置いているが使えるのか？

会社：北行詰所については、委託先の待機場所になる。社員の待機場所は変わるので考えていく。

組合：北行詰所が使えないと10号車付近にテレビがなく連絡手段がない。

会社：連絡手段は必要。必要なものは対応していく。

組合：小金井駅の貫通作業は下りホームがメイン。委託先の詰所を上りホームにした根拠はなにか。

会社：その方が効率が良い。下りホームには信号所があり、移設となるとコストが大きい。区分けもスペース的に厳しく、上りホームにつくることを判断した。

組合：今後寒くなるが外で1時間待つケースもあり、異常時を考えると上りホームに詰所を設置してほしい。

会社：意見として承る。現場と調整し、改善できるところは改善していく。

施策の目的とメリットを確認! 必要な改善を行っていくことを確認しました!!

※その2へ続く